



道

2019・4・24

通信 No 1532



《今日の練習曲》小坂先生 1部
「ヴォルガは流れる」音取り練習、2回目。
うたごえ「トロイカ」

《5/1の練習曲》
中山先生 3部

第2部で歌う「ヴォルガは流れる」の練習が始まりました。前半のスキットA子と同じように「道」の多くの皆さんに共感していただけるだろう曲として選びました。3番の歌詞、「古き友いまもあり」「歌声ひびきわたる」「憩いのわが港」とは「道」のことだと思います。比較的団歴の浅い皆さんにもそのような気持ちで歌っていただけるとうれしいです。当日は、団員全員で歌っていただきますが、基本的には高音部をS, T, 低音部をA, Bでお願いします。この曲の演奏中、スクリーンには思い出の写真(募集中)を投影する予定です。したがって、ステージは多少暗くなりますので暗譜をお願いします。また、隊列もパート別でなく、思い思いに立ったり、座ったりの自由位置(本番前の“場当たり”で決めます)で歌っていただき、「道」の暖かさが伝わるようなステージになると良いと思っています。

ヴォルガは流れる

- 遠くはるか 流れくるは 果て無きヴォルガ
水ゆたかに 実る畑(はた) 真白の雪
流れはヴォルガ 私は十七歳
母は言う、長い旅の疲れいやせ 息子よ
我が家にしばし憩え
やさしヴォルガに手を浸せ
- (くりかえし)
流れはヴォルガ 私はもう三十
ふたりで舟を漕いだ 思い出の春とおく
はかなく過ぎ去れども 君を得し幸ここに
- (くりかえし)
ヴォルガ眺め 私は早や七十
憩いの我が港よ 古き友いまもあり
川面に星は光り 歌声ひびきわたる
- (くりかえし)
流れはヴォルガ 私は十七才

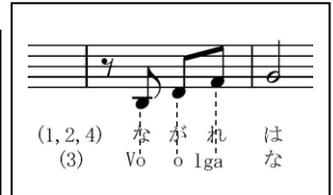
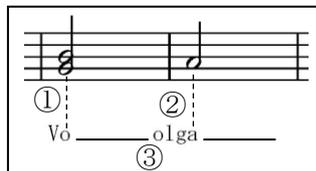
※ Волга (女性名詞) 母なるヴォルガ

※テンポは一定ではありません。

指揮をよく見て歌いましょう。

団内指揮として淵さんをお願いしています。指示を良く見聞きしてくださるとともにロシア語の単語「ヴォルガ」(Волга: 2音節)の歌い方について次のようお願いします。

(第2部演出 石田)



- ①母音を音符(拍)の位置で発声する
- ②母音の後ろの子音は次の母音に付ける
- ③長い母音は言い直す 「ヴォーオルガー」

Voの発音: 下唇を軽く噛んで「ヴォ」

lgaの発音: 舌尖を上歯茎にあて、「-ガ」

※ (lu-ga[ルガ])とは言わない

ただし、「ヴォルガエレジー」では、ベースの「プラトーク」に合わせて(あえて)カタカナ読みをします。(Vo-lu-ga: 3音節で)



《今後の会議予定》

5月1日(水) 9時～ 51周年県立音楽堂申込及び抽選日
2時半～ 運営委員会

今日の片づけはソプラノとバス